

彩の国バリアフリー協会だより 第7号

広報誌発行にあたり

彩の国バリアフリー協会会長
戸井田秀明

この度、広報誌発行にあたり、多大なる協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

昨年、一昨年と広報誌発行に關しましては、予定通りに進むことが出来ず、何かと御迷惑をお掛け致しました。しかし、今年度は年三回の発行を予定しており、すでに四月に一回目を発行し、今回の発行が二回目をむかえる事ができました。広報部を始め、関係各位の熱意が会員の皆様に伝わると思えます。

私も会長を仰せつかり一期（二年）が過ぎ、この度、二期目（三年目）も同職を務めることになりました。

一期目は正直なところ、今までの殻を破りたいと思いつつも、ばたばた慌てているうちに過ぎてしまい、反省する事ばかりでした。しかし、そうも言っていないられません。今期は役員の皆様も板についてきて、本来の力を発揮していけると思います。これから

ら益々魅力ある協会にしていくよう、役員一同がんばっていきたいと思います。

今年度の当協会は、関連の深い他団体との交流と会員相互の親睦に力を入れて、参加したくなる楽しい企画を考えております。皆様の御参加をお待ちしております。今後共、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

活動開始！！

総務部担当・副会長
佐藤啓智

いよいよ今年度も活動開始、お尻に火が点かないうち

に行動あるのみは、当協会一番勉強熱心な稲垣氏・やはり仕事に忙しい人は何をすることも行動が早いと痛感いたしますが、さして、腰が痛く

て（**脊髄管閉塞症**）最近体重オーバーな体をいたわりながらやりますか。昨年度より、総務担当になり会計等々、不慣れな部署（部所？）に来てしまったのでありますが、やるきやないと心に決め「イザ出陣！！」。当協会も総会後初の理事

会を7月上旬に開催し、平成22年度活動内容の見直しをし、会員がより多く参加し、行動出来るような事業を検討いたしました。

総務担当ですから主には、協会の組織を明確にし、会員には会員相互の親睦や情報伝達、又いやな仕事ですが会費の入金状況調査、等々、ボランティアはいっぱいあります。

最近の経済状況の悪化により、多くの会員が退会してしまいましたが、何とか退会をとどめ、多くの新会員確保に向け運動しなくてはならないと考えております。

6、7月と国内旅行が多く、北海道に1回、九州長崎に2回、沖縄本島に1回、その他東北・関東地方で多くの旅行ほか、に行つて来ましたが、やはり地方に比べると埼玉はかなり多くの施設でバリアフリー化が進んでいると痛感（体験）できますね。特に長崎は、坂や石段が多く、街全体を直さなくてはならないぐらいの規模ですと大変ではありますが、やりがいがあると思いつつ、痛い腰で



22年度役員紹介



会長 戸井田秀明

ひとりひとりの力を集結して大きな力となる為に。GOGOバリア協！



副会長 佐藤啓智

我が街、川口から愛を込めて贈ります・バリアフリーラブソング♪♪
(総務担当です。)



副会長 武田敏彦

(事業部担当です。)



副会長 栗林稔昌

障がい者を始め、高齢者を含めた全ての人達が、全てにおいて笑顔で使い易い環境になる様に、車椅子を使用している当事者として提案して行きたいと思えます。
(事業部担当です。)



理事 柴原美苗

田舎町に住んでいます。「らき・すた」で少し有名になりました。(広報担当です。)



理事 寺田修

(総務担当です。)



理事 高杉雄一

(広報・ホームページ担当です。)



腰が痛かったので思うように沖縄では潜れませんが、パラセーリングは爽快でありました、是非皆様にもお勧めです。



建築士事務所協会で開催した、バリアフリーカレッジの卒業生が多く入会しているバリアフリー協会であり、個人情報関係が、個人情報が、時間をかけ、会員皆がバリアフリー協会に入つていて良かった、となるような事も総務で頑張ります。



理事 金子保

(広報担当です。)



理事 稲垣雄二

その時の体調で似顔に出来不出来があるのは勘弁してください。

(広報・似顔担当です。)



監事 山崎由美子

(監事担当です。)



監事 竹ノ谷教夫

ただいま登山とサイクリングとランニングに夢中です。(監事担当です)

「小さな屋根の下で」

理事 柴原美苗

秀夫さんは85才。高血圧以外に病気はありませんでしたが、半年前位から物忘れが多くなってきました。

秀夫さんには息子さんが一人いらつしやいますが、優しい性格だった為か、30年位前の20代の頃に精神病を患ってしまいました。今でも薬を服用して、自分のことは何とか出来ますが、仕事も無く、家事は秀夫さん任せです。

秀夫さんはずいぶん前に奥様を亡くし、男手一人で息子さんを育ててきました。生活は質素で、白いご飯とお味噌汁さえあれば、あとは卵や納豆、季節の野菜の炒め物など一品あれば良いといったような食事を何十年も続けてきました。ご飯もお味噌汁もいつも決まった量を作り、無くなるとまたご飯を炊き、味噌汁を作る・そんな生活でした。



暖めなおすお味噌汁のお鍋を火にかけたのを忘れてたり、火を消し忘れたり、おなべが真っ黒く焦げてしまうことが多くなりました。息子さんから相談された病院の先生が、ケアマネージヤを紹介してください、お掃除や料理のためにヘルパーが訪問するなど、介護保険を利用するようになりました。

その後、あまりにもお鍋を焦がすことが増え、火の不始末が心配になってきましたので、ケアマネージヤとヘルパーと息子さんと相談し、お味噌汁を温めるために、電子レンジを購入し、利用することになりました。値段も安く操作の単純な物を選びました。暖めるものの中に入れて、スイッチを押す・ヘルパーが訪問する度に何回も説明し、何回も一緒に使ってみましたが、秀夫さんが一人の時に利用することはありませんでした。そして、以前はできていた炊飯も、内釜ではなく本体に洗ったお米と水を入れ、炊飯器を壊してしまいました。仕方なく日中は、炊飯器を秀夫さんの目に付かないところに片付けると、ポットにお米と水を入れたようので、ポットに生煮えのお米がありました。

秀夫さんは今まで通り、家事をしようと一生懸命です。息子さんに叱られるながらも、一生懸命でした。やがて、ご飯を炊くことも、お味噌汁を作ることも、忘れてしまいました。今は穏やかに、料理しているヘルパーを見ているだけです。

もうひとつの

バリアフリー

副会長 武田敏彦

昨今の新築住宅に於いては必要な場所に手摺を設置することや床の段差を極力設けないことなど基本的なバリアフリーの考え方がずい分取入れられるようになってきました。

既存住宅に於いてもお年寄りのいる家庭を中心に和室と洋室の床段差の解消や浴室の改修手摺の取付け等がひろく行われています。

これは住まいの安全に対する意識が社会全般に高まってきたことの表れであり今後も住宅のハード面での改善は続いてゆくものと思われまます。

住宅の安全に関する基本的なものとしては前記のような物理的な要素のほか

きれいな空気や快適な温度そして心地よい風の流れといった眼には見えないけれど生活する上で大変大切な要素があります。

最近の過酷な暑さによつては室内でも熱中症にかかる危険性が指摘されています。また厳しい寒さの中では暖房のよく効いた部屋から寒い廊下に出た途端に血管の急激な収縮によつてさまざまな障害のおきる可能性も懸念されています。

これらは目には見えないけれども生活する上で温度がバリアになっていると考えることができます。

同じように建物を構成する材料やその使い方によっては健康に好ましくない影響を及ぼす危険性もないとは言えません。たとえば材質であったり色であったり匂いであったり有害物質であったりとならゆるものがバリアになりうる可能性が考えられます。

我々は建物のハードな部分のバリアをなくすことは当然のこととしてそれ以外の直接触れたり見たりすることのできないものがバリアになつていないかどうか意識していかなければならないと思つていきます。

体の医療と心の医療

会長 戸井田秀明

六月のはつきりしない天気の中、介護福祉士である知人から「とてもユニークな医療を行っている病院があるよ」と紹介され、是非見学してみたいと思い、千葉市若葉区にある総泉病院へ向かった。そこで見たユニークな療養環境の一部を、この広報誌で紹介いたします。

当日は私の他に、福祉施設の経営者や看護師、介護福祉士の方など数名のグループで病院を訪ねた。

JR千葉駅からモノレールに乗り、揺られること約40分、終点の千歳台駅で下車し、タクシード約十五分、周りを杉林でおおわれ、自然豊かな環境の中にその病院は建っていた。





病院の敷地内にもうっそうと茂った杉林は存在し、遊歩道となっている。藤棚や花車の庭、鯉の泳ぐ池、そしてのどかな田園風景を思わせる

水車小屋があり、季節ごとの楽しいお花見会を催し、自然に直接触れることで、心、身のリフレッシュを目的とした森林療法を行っている。

病院の理念の中にチーム医療と介護サービスがあり、高齢者医療に質の高さを求めていて、患者さん一人一人の特性を理解し、総合的視野の観点から療養生活をサポートしている。



病棟内にもユニークなところがいくつもあり、昔懐か

しいおでん屋台や昭和三〇年代の町並みを再現した思い出ミュージアム、くつろぎの空間ヒーリングコーナーなど、長期療養される方々にとって単なる治療の場ではなく、生活する空間でもあると、案内していただいた病院のセンター長も口にしていきます。



リハビリプログラムやセラピーの内容を伺い、私の身近にある病院とは違ったユニークな療養環境を目の当た

りにし、充実した時間を過ごすことができたと思っております。

彩の国バリアフリー協会の
ホームページアドレスが
新しくなりました。

<http://sainokunibarkyo.web.fc2.com/>

「UDカレッジの思い 出〜これからの協会に 期待〜」

監事 竹ノ谷 敦夫

バリアフリー協会にはUDカレッジでお世話になったことがきっかけで入会しました。そのUDカレッジの思い出を振り返りました。

UDカレッジでは高橋儀

平先生の講習のあと、障害のある方との町探検や、疑似体験、また最後には住宅の改修設計の課題ありと、3日間みっちりとしたスケジュールでUD(ユニバーサルデザイン)について学びました。私は建築設計の仕事をしていますが、知識は様々な形で入手できますが、知識を得ただ

けではなかなか業務で活かすことはできず苦勞します。UDカレッジのすばらしさは、体験して感じ取ることがプログラムの中にぎっしりと詰め込まれていることです。

不自由さの疑似体験ではさいたま新都心周辺を、身障者の方と一緒に歩きました。またお話を伺いながら、少しでも彼らの気持ちを感じることができたと思います。一緒に昼食を食べに行っても、

車椅子では不自由なテーブルが多いことには驚きました。このように身障者の方の声をじかに聞いたことは本当に貴重な体験であったと思います。そうそう、車椅子でも飲み会で大変元気な栗林氏との出会いも忘れられません。車椅子で通れないところは、皆で担いでお店に入る。バリアフリーとは心の付き合ひであることを改めて認識させられました。

バリアフリー法などにより、建築設計の世界では、多くの人が利用する建物などに、バリアフリーとしてのスペックが当然に義務付けられています。しかしそれだけでは片手落ちであり、様々な利用者の動作、行動などを認識し建物の動線として頭の中に組み立てていくことが

欠かせません。しかし、それは大変高度なことであり、人の気持ちはわかったつもりでもなかなかわからないものでもあります。だからこそバリアフリー協会の役目はそこにあるように思います。これからも有意義な事業が行われることを期待します。

バリアフリー 関係法規のハテナ？

(稲垣)

老人ホームの運営者が困っている一つは点字ブロックの設置です。転倒は骨折・入院・衰弱・死亡という負の連鎖のきっかけとなるためどの施設でも神経を尖らせています。数ミリの段差でも(数ミリだから)つまづくことはよくあること。ブロックの突起が原因で転倒した例は聞きませんが視覚障害者の生活していないホームではないほうがよりよいと思います。逆に居住者・近親者が視覚障害者であることはまれにありうることで・・・。

解決策は？

バリアフリー関連の疑問・提言その他ありましたら編集後記内の宛先までお知らせ下さい。今後このコーナーで取り上げ情報発信したいと思っております。

**バリアフリー
関連の記事から**
(記事の続きを読みたい方はタイトルをインターネットで検索してお読み下さい。リンク切れで読めない場合があります)

お笑いから介護へ 『板木を福祉日本一の街に』

お笑い芸人から介護の専門家に。宇都宮市の宇都宮短大人間福祉学科で介護福祉教育に携わる古川和稔准教授(42)は、かつてプロのコメディアンとして活動した異色の経歴を持つ。活躍の場をステージから教壇に移した古川さんは「介護の仕事に誇りを持つ」と学生に呼び掛け、後進の育成に心血を注いでいる。



介護は、利用者と職員が互いの思いを感じ合ひ、協力して問題を解決する「双方向」

の作業だ。「思いが通じ合った時は、芸人時代には得られなかった喜びを感じた」

現在の主な研究テーマは

「介護職員の離職問題」。

0%を超える離職率について「低賃金や労働環境のせいではなく、専門職としてのやりがいを持っていないから。きちんと知識を身に付けて相手と向き合い、双方の思いを感じられれば仕事に誇りが持てるはず」と分析する。「栃木を福祉日本一の街にしたい」と夢を語った。

東京新聞2010年4月21日

バリアフリー基本構想作成の市区町村は26%だけ

国土交通省は17日、高齢者や障害者が利用する施設が多い地区の整備方針を地方自治体が定める「バリアフリー基本構想」について、作成済み、または作成予定としている市区町村が、昨年3月末現在で全国の26%にとどまっているとの調査結果を発表した。

作成予定がないとした1335市区町村に複数回答で理由を尋ねたところ「予算が不足」（47%）、「担当部署がない」（29%）など対策に取り組むことが困難とした自治体が目立った。2

1%は「既にバリアフリー化を実施、または実施予定」と回答した。

産経新聞2010年3月17日

社会福祉法人が育てた「現代アート」の新星たち

大阪市の南端、平野区瓜破（うりわり）。地下鉄谷町線喜連瓜破（きれいりわり）駅から車で10分ほど走った大和川の護岸沿いの住宅地に、現代美術界が注目する新進気鋭のアーティスト集団「ジオアトリエ インカーブ」だ。

運営しているのは社会福祉法人素王（そおう）会。ここは知的障害のある人のための「指定生活介護事業所」、いわゆる通所施設なのだ。現在ここには「絵を描くことが大好き」な24人の知的障害者が通っている。それぞれが思い思いに絵筆を取り、自由なスタイルで自分が描きたい絵画の制作に明け暮れている。

そんな福祉施設の活動の中から、コンテンポラリーアートの世界で脚光を浴びる作品が続々と生み出され、ニューヨークをはじめとする国内外の有力画廊が作品を取り扱う「新進作家」が何人も

誕生している。中には、1点数百万円もの値が付く作品もあるほどだ。

最初に火の手が上がったのは5年前、現代美術の聖地・

ニューヨークだった。ニューヨークでは正式な美術教育を受けていない作家による「アウトサイダーアート」として高く評価され、アートフェアへの招聘、『ニューヨーク・タイムズ』紙をはじめとするマスコミの取材が相次いだ。評判は燎原の火のように広がり、その後、彼らの作品はサンフランシスコ、東京、さらにはパリと、世界各地の大手画廊でも扱われるようになっていった。

方エビ固め Reverse Hair Boston Crab (作品画像提供: アトリエインカーブ)

もつとも、こうした華々

しい評価は決して、向こうから一方的にやって来たというわけではない。明確な理念と戦略によって着実に歩を進めてきた「仕掛け人」がいる。

素王会の理事長で、アトリエインカーブのエグゼクティブディレクターでもある今中博之氏その人だ。自身も軟骨形成不全症による下肢障害があり、大学でインテリアデザインを専攻。商業施設の内装などディスプレイ分野で最大手の乃村工藝社勤務を経て、想いを持って同アトリエを立ち上げた社会起業家である。

アトリエ インカーブの運営理念を一言で表現すれば、「障害のある人たちが持っている潜在能力や才能をいかになく発揮できる環境を整え、自らの能力で自立できる場を提供する」ということに尽きるだろう。

一般的な障害者のための授産施設のように、お仕着せのメニューが決まっているわけではない。「誰にも強制されず、自分が好きなことだけに打ち込める」。そんな環境



新木友行 Tomoyuki Shinki 「逆

作りをひたすら追求しているのである。それは、感情・感性が繊細で傷つきやすい人が多い知的障害者にとつての望ましい生活環境であると同時に、アーティストにとつては理想的な創作環境でもあるからだ。

日経ビジネスオンライン

編集後記

情報をお寄せ下さい

自動改札やIC決済機にタッチすると光るパスケースが市販されています。LEDが内蔵されオシャレが売りのようですが、聴覚障害者にとつては便利な商品。健康者はカード読み取り完了を音で知りますが聴覚障害者はそれができないためパスケースのイルミネーションがその代わりです。



忙しい中寄稿していただいた役員の皆様ありがとうございました。ごさいました。

また、ホームページに関しては高杉理事のすばやい対応と前理事の榎本さんのご指導・引継ぎで協会独自のアドレスに移行することができました。(感謝)

今後新入会員や賛助会員の紹介のコーナーも設けたと思います。

本年度二回目の広報誌発行となりましたが次回は来年1月予定です。

バリアフリー関連法規についての疑問・ニュースその他ございましたら左記メールアドレスまでお知らせ下さい。役立つ情報を発信し、この広報誌を会員の皆様との情報交換の場としたいと思います。送って下さる場合はお名前・連絡先明記をお願いします。

(y_kinag@ybh.ne.jp)

広報担当 稲垣)

発行者
彩の国バリアフリー協会
〒336-0031
さいたま市南区鹿手袋4-1-7
埼玉県産連会館
TEL 048-864-9313
FAX 048-864-9381